

住民の要望で 並木町に信号設置

南区並木町の横断歩道に信号機が設置され、1月20日に地元のみなさんで点灯式が行われました。



現場は1年間で2件もの交通死亡事故が起こった横断歩道です。道路が広くスピードを出しやすいう上に、夜は暗くて歩行者や横断歩道が見えにくくなっています。

地元住民は信号機設置を求めていたのですが、当初県警は近くに他の信号があることを理由に困難だとしていました。

質問の総時間削減は市民の声を削ること

岡山市議会の議会運営委員会は1月13日、個人質問の時間を20分×人数を会派に配分する会派持ち時間制にすると決定しました。

日本共産党は質問時間の削減になるとして反対しましたが、自民党、公明党、創政会の賛成多数で決められてしまいました。議会の時間短縮が理由です。6月議会から適用されます。

ここで住民は「並木町に信号機設置を求める会」をつくり、一五九筆の署名を集めて東市議、森脇ひさき県議と昨年3月に県警に信号設置を申し入れました。また南区役所にも、県警と協力して対策をとることを申し入れました。

その後も地元からの働きかけがされる中、信号設置が実現しました。ねばりつよい住民運動の成果です。

個人質問の時間は、今まで最大30分×40人の一〇〇分だったのに、八〇〇分まで減らされました。

岡山市議会は議会基本条例で、議会の役割は多数決だけの「議決機関」ではなく議論を尽くす「議事機関」であることを明確にし

ひとこと

1月22日に女の子をさずかり、一児の父になりました！仲間と希望をもって生きてほしいと願い、「睦希(むつき)」と名付けました。生命の大切さを実感しながら夜泣きと格闘する日々です。子育てががんばります。(東つよし)



ました。議会質問で市政をチェックし、市民の声を届けることは議員にしかできない仕事です。質問時間削減は、議員固有の仕事をやらない、やらせない議会の道であり、市政を市民から遠ざけることです。

あずま

東つよしの

奔走



明党、創政会の

視察報告 広島市の子育て政策を学びました

日本共産党の岡山市、瀬戸内市、玉野市の若手地方議員で1月12、13日に広島市の子育て政策を視察しました。以下報告です。

こども療育センター

広島市こども療育センターは、心身障害児に関する相談機関と専門病院の性格を統合した診療所として四〇年前に発足しました。相談・医療部門、発達支援部門、心療部門が5階建てのビルに入っています。現在は発達障害者支援センターを設けて診療と療育



こども療育センター(HPより)



給食のアレルギー対応も万全です

も行っており、今年度からは保護者からの要望をうけた保育園等への訪問支援も始めています。

発達障害をはじめ、子どもへのさまざまな悩みにまず相談できる、ワンストップで診察や療育まで行えることが特長です。

岡山市には発達障害者支援センター(ひか☆りんく)があります。他機関につながる相談がメインで診療も療育もしていません。ワンストップの体制が岡山市にも必要です。

放課後児童クラブ

放課後児童クラブ(学童保育)は広島市ではほとんど公設公営、おやつ代など保護者会が集めるもの以外は無料! 指導員は市の非常勤職員で、一定の資格を持っています。民営の学童保育には公営と同じ指導員の待遇を保障できる補助をしています。開設時間等の内容はどこも同じです。

6年生までの受け入れになつて、入れない子どもが出たため来年度に向けて施設確保

に努めているとのことでした。運営委員会方式が主流の岡山市では同じ体制にはできませんが、岡山市でもできることから進めたいです。

保育園民営化反対の運動

広島市公立保育園保護者会連絡会の方々から、市立保育園民営化に反対した運動について話を聞きました。「保護者に知らせる」「自ら学ぶ」ことを貫き、各市立園の保護者が主体的に動けるように努力してきました。民営化の目的が安上がりの保育であることが明らかになる中で運動が広がり、全体の民営化計画は止まっています。

岡山市は一二〇の市立幼稚園、保育園を、市内三〇の区域に一園ずつ認定こども園として残す以外は廃止民営化しようとしています。広島市民の保育の公的責任を守らせる熱く粘り強いとりくみに学ぶべきことはたくさんです。



岡山市長が来年度の国保料は値上げしない方針と表明!(詳細は次号)